

一般社団法人日本応用地質学会 ダイバーシティ推進委員会運営規程

令和5年3月20日制定

令和5年4月24日制定

第1章 目的及び業務

(目的)

第1条 一般社団法人日本応用地質学会（以下「この法人」という）ダイバーシティ推進委員会（以下「委員会」という）は、定款第4条五及び七の事業を遂行することを目的とし、規則第90条の内容を実施することを目的とする。

(業務)

第2条 委員会は、前条の目的を達成するため、次の各号の業務を行う。

一 この法人の活性化と持続的な発展を実現するための、ダイバーシティ推進の在り方の検討に関する事項

- ① アース・サロンやキャリアデザインセミナーなどのダイバーシティ推進のための会員交流の場の創出、イベントの実施
- ② web や会誌等を介した会員向けのダイバーシティ啓発活動
- ③ 応用地質学分野のキャリア紹介や委員会紹介など、学生や一般市民を含めた外部へのダイバーシティ活動に関わる広報
- ④ 委員会や研究部会、他学会等と連携した、応用地質学の多様化を実現するための検討および機会創出
- ⑤ 国際的なダイバーシティ推進を実現するための情報収集と情報発信
- ⑥ 次世代育成等のダイバーシティ推進に係るその他事項の検討

二 その他の事項

第2章 委員会の構成及び運営等

(構成)

第3条 委員会の委員は、規則第70条第①項に従い原則として20名以内とする。

②委員会に委員長1名、副委員長1名、幹事若干名をおく。

③委員会の委員長は、規則第70条第③項により、理事あるいはそれと同等と認められる者が務める。

(職務)

第4条 委員長は委員会の事務を統括する。

②副委員長は委員長を補佐し、委員長不在の時はこれを代行する。

③幹事は委員長を補佐し、委員会の業務を処理する。

(選任及び委嘱)

第5条 委員長は、規則第72条第①項により、理事会において選任し、会長が委嘱する。

②委員は、規則第72条第④項により、原則として委員長の推薦に基づき理事会で選任し、会長が委嘱する。

③副委員長及び幹事は、委員の互選により選任し、会長が委嘱する。

(任期)

第6条 委員の任期は、規則第73条第①項により、2年とする。ただし再任を妨げない。

②補欠または増員により選任された委員の任期は、規則第73条第②項により、前任者または現任者の残任期間とする。

③委員がこの法人の委員としてふさわしくない行為をしたときは、規則第73条第③項により、理事会の議決により解任することができる。

(召集)

第7条 委員会は、規則第74条第①項により、委員長が召集する。

②委員会は原則として、年4回程度開催する。

③委員長は、規則第74条第②項により、必要に応じて、文書・電子メール・Web会議等をもって委員の意見を徴し、委員会の開催に代えることができる。この場合はその結果を委員に文書・電子メール・Web会議等をもって通知しなければならない。

(定数及び議決)

第8条 委員会は、規則第75条第①項により、委員現在数の過半数の出席（委任状を含む）をもって成立する。

②委員会に出席できない委員は、規則第75条第②項により、あらかじめ委任状を委員長宛てに提出する。

③議事は、規則第75条第⑤項により、出席者（委任状を含む）の過半数をもって決し、可否同数のときは委員長が決する。

(事業報告並びに事業計画及び予算)

第9条 委員長は、規則第76条第①項に準じ、毎事業年度終了後すみやかに事業報告を委員会に提案し、承認を受け、総務委員会及び理事会に提出しなければならない。

②委員長は、規則第76条第②項により、毎事業年度開始日の前日までに、翌年度の委員会の事業計画案及び予算案を委員会に提案し、承認を受け、総務委員会及び理事会に提出しなければならない。

(議事録)

第10条 委員会における審議の経過及び結果は、規則第78条により、議事録として記録し、次期委員会に引き継ぐ。

(報告及び通知)

第11条 委員会における審議の経過及び結果は、規則第79条第①項に準じ、総務委員会及び理事会で報告するとともに、その概要を会誌等で会員に通知しなければならない。

附則

(規程の制定、変更及び廃止)

第1条 この規程は、理事会の承認（令和5年3月20日）をもって施行する。

②この規程の変更及び廃止は、委員会の決議を経て、理事会の承認を得なければならない。